

理事選挙 立候補者名簿及び理由・抱負、推薦者名

No.	候補者・氏名	候補者・所属	立候補あるいは推薦する理由・抱負など	推薦者・氏名
1	青木陽介	東京大学地震研究所	学会活動の根幹をなす秋季大会は昨今のコロナ渦で開催形式の変更を強いられています。私は理事として、コロナ渦が終息したあとも持続可能かつ現代的な秋季大会の開催方式を模索してまいります。また、連合大会におけるセッション開催も含めて、会員にとって有意義な学会開催を目指します。	青山 裕
				中道治久
				宗包浩志
2	青山 裕	北海道大学大学院理学研究院附属地震火山研究観測センター	大学や研究者にも自然災害の軽減にむけた取り組みが求められる今日において、火山災害の軽減ならびに噴火予知研究の推進を学術的に支える日本火山学会が果たす社会的使命は大きい。火山に興味を持つ人々を広く迎え入れ、火山学や火山防災について垣根なく議論できる環境を提供し続けることは、本学会の大きな使命である。引き続き理事として本学会の運営に関わり、学会および火山学の更なる発展に貢献していきたい。	佐藤 公
				常松佳恵
				橋本武志
3	石峯康浩	山梨県富士山科学研究所	立候補者は、現在、日本火山学会の火山防災委員会担当理事ならびに事業委員会、将来計画委員会の委員を兼任し、学会活動に積極的に協力しています。今後も日本火山学会活動の発展に貢献させていただきたいと希望します。	千葉達朗
				市原美恵
				吉本充宏
4	市原美恵	東京大学地震研究所	火山学は様々な分野の境界領域にあり、また、科学的興味と社会的ニーズなど多様な価値観で研究が進められています。火山というキーワードでまとまりつつ、研究対象や手法、応用のダイバーシティを包容しているところが火山学会の魅力・意義であると考えています。今後もその発展に貢献したいと思い、立候補いたしました。	金子隆之
				行竹洋平
				前野 深
5	上田英樹	国立研究開発法人防災科学技術研究所	火山研究において、組織や研究分野間の連携は非常に重要です。私は、火山研究に資するため、火山観測網やシステム運用などを行ってきました。この活動や経験を活かし、日本の火山研究の発展に貢献して参りたいと考えております。	中田節也
				藤田英輔
				小澤 拓
6	大野希一	鳥海山・飛島ジオパーク推進協議会	ジオパークの火山学的価値の創出を支援し、地質サイトの保全に寄与するとともに、関連する地球科学系の学会と連携しながら、ジオパークの認定地域が有する学術的価値の評価や、ジオパークの運営組織が求める人材の育成に貢献したい。	中田節也
				林信太郎
				廣瀬 亘
7	奥村 聡	東北大学大学院理学研究科地学専攻	若手学術研究者の育成、ボトムアップ型研究プロジェクトの推進、研究成果の国内外へのアピールなどの課題に取り組み、火山学術研究の発展と普及に貢献したいと考えております。	嶋野岳人
				萬年一剛
				東宮昭彦
8	下司信夫	国立研究開発法人産業技術総合研究所 活断層・火山研究部門	学術から防災・普及啓発に至るまで多岐にわたる火山学への社会的要請に応え、学会員のさまざまな活動・交流の場となる学会活動を推進したいと考えます。	西村太志
				宮縁育夫
				東宮昭彦
9	高木朗充	気象研究所火山研究部	私、高木朗充は、気象庁気象研究所において気象庁における火山業務に関連する火山活動の監視や活動評価に資する研究・開発を一貫して行ってきた。一方、気象庁地震火山部に在任中には、全国の火山の活動評価業務の中核を担い、その取りまとめを行ってきた。わが国の学術コミュニティが培ってきた火山学の成果の社会への還元は、防災との接点が色濃い火山学界にとっては重大な使命である。私、高木朗充は、長年にわたる火山研究に加え、防災担当業務の経験も豊富であり、火山学コミュニティに課せられたこのような重大な使命の達成がなされるよう尽力したいと考え、このたび立候補する。	山里 平
				吉田康宏
				尾崎友亮
10	千葉達朗	アジア航測株式会社	立候補者は、現在、日本火山学会の副会長ならびに火山防災委員会担当理事を担当し、学会活動に積極的に協力しています。民間の立場から、今後も日本火山学会活動の発展に貢献させていただきたいと希望します。	荒井健一
				石峯康浩
				吉本充宏
11	東宮昭彦	国立研究開発法人 産業技術総合研究所 地質調査総合センター 活断層・火山研究部門	候補者は火山学会の庶務委員、評議員、財務委員、事業委員、編集委員、6年前からは理事を務め、様々な活動に携わってきた。今後も、ポストコロナ時代に対応した魅力ある学会活動のあり方を考えつつ、引き続き学会に貢献していきたい。	下司信夫
				奥村 聡
				及川輝樹

12	中道治久	京都大学防災研究所	現理事として事業委員会を担当しています。学会の活動におけるインターネットを活用した事業展開を検討しており、その準備を進めているところです。引き続き、日本火山学会の発展に微力ながら貢献できればと思います。	青木陽介
				青山 裕
				宗包浩志
13	藤田英輔	国立研究開発法人防災科学技術研究所	火山研究が現在直面している課題として、火山活動評価の定量化や火山防災への適用に対して、中長期的かつオールジャパンの視点から取り組みたいと思います。	西村太志
				吉本充宏
				中田節也
14	宮縁育夫	熊本大学 くまもと水循環・減災研究教育センター	これまでの4年間、学会誌「火山」の編集委員長として、日本火山学会の運営に関わらせていただきました。今後も会員や社会の要望に応えるように努力し、日本火山学会の発展に貢献したいと考えています。	西村太志
				下司信夫
				星住英夫
15	山本 希	東北大学大学院理学研究科地震・噴火予知研究観測センター	火山国・日本において、火山に取り組む多様な会員が集い、分野間や組織間の連携を支える日本火山学会は、学術研究及び火山災害軽減の推進のために重要な組織です。これまで、庶務委員や編集委員を務めさせていただきましたが、学会の更なる発展のために微力ながら貢献できればと考え、理事選挙に立候補いたします。	西村太志
				青山 裕
				寺田暁彦
16	横山 光	北翔大学教育文化学部教育学科	私はこれまで学校現場における火山の教育普及に携わってきた。日本において、火山に関するアウトリーチは重要な課題である。皆が火山に関心を持ち、火山と親しみながらも正しい判断や行動ができるよう、本学会の教育普及活動に貢献したい。	三好雅也
				増淵佳子
				林信太郎